

# 上を向いて歩こう

## 新学年スタート！

本年度から進路指導を担当させていただきます、永井政貴です。昨年に引き続き、「上を向いて歩こう」をタイトルとして、進路だよりを発行します。朝中生一人一人が自分の夢に向かって、顔を上げて努力し、夢を実現させてほしいという願いを込めています。一年間、よろしくお願いします。

また、進路に関するご質問などがありましたら、お気軽に担任・学年・学校までご相談ください。

### 令和4年度卒業生の進路

進路先	人数
公立高校（全日制）	132人
私立高校	64人
国立高校	4人
専修学校	19人
公立高校（定時制）	8人
通信・サポート校	10人
その他	6人
合計	243人

### ☆この春（令和4年度）の卒業生の進路

左のように実際の進路先をみると、昨年度は卒業生243名中、国公立高校（全日制）進学者が136名で56%、私立・専修学校高校進学者が83名で34%という結果でした。また、87%の生徒が第1希望の学校へ進学することができました。

### ☆希望の進路を実現するために

まず、**自分の目標をしっかりと見つこと**が何よりも大切です。そして、**毎日の生活や授業を大切にすること・提出物を必ず出すこと**など、当たり前のことを当たり前に実行することも大切です。3年生に課題として出される新研究（問題集）も、丁寧に取り組むことで学力を高めることができます。面接では、自分の考えを確実に伝えるための話す力も必要です。日々の授業で力を積み重ねてほしいと思います。

### ☆自分の目標をしっかりと見つためには？

中学校を卒業したら、どんなことがしたいのか。1年後、3年後、10年後と、今考えられるだけ先の自分自身を、想像してみましょう。大人になった自分の姿から、そうなるためにはどうしたらよいか、その道筋を考えることが目標設定につながります。大人になってからのことがまだ想像できない人は、中学校を卒業したあとで何がしたいのかも大丈夫です。少し先の未来を想像して、その姿に近づくために必要なことができる場所を選ぶことが進路選択になります。「自分のやりたいことを見つける」ことが進路を考えるスタートになります。

その次は、どこに行けば何ができるのかを知ることです。上級学校から配られるリーフレットやホームページなどから、学校についての情報を得ることができます。また**体験入学**では実際に見て、話を聞いて空気を感じることができます。百聞は一見にしかず、たくさん学校に赴いて、比べてみるのがとても重要です。体験入学については、後日連絡します。

### ☆これから先の進路決定に向けて生徒の皆さんに大切にしてほしいこと

#### ① 家族・友達・先生と、進路について話し合う。

3年生にとっては、進路選択は初めての経験になります。いろいろな人と相談しましょう。

#### ② 配付されたお便りは、自分で読んで内容を把握する。そして必ず保護者に渡す。

一年間、大量の情報が発信されます。今必要でないと感じたことも、あとで気になるかもしれません。全て目を通すことと、保護者の方にも知ってもらえるよう、必ず渡してください。

#### ③ 提出物は締め切りをきちんと守る。

進路関係の提出物は全てまちがいがいいことを確かめながら処理を進めます。期限を守らないと、もしまちがいがあつたときに対応できなくなってしまうこともあります。余裕をもって提出をお願いします。